

2012年1月31日

オムロン基金プロジェクトによる研究プロジェクト申請書

申請者

所属 ビジネス研究科

氏名 近藤まり

1 研究プロジェクト名	【萌芽プロジェクト】 日本再生のために、ビジネススクールは何ができるのか？ (高度国際人材の養成・企業での活用の視点から)
2 研究メンバー ※ビジネス研究科教員 以外の者については、 所属先も記入し、履歴 書・業績書を添付する こと。	<ul style="list-style-type: none">● 近藤まり (プロジェクト代表)● DBS内チームメンバー：<ul style="list-style-type: none">➢ Andrew Staples➢ Timothy Craig (2012年4月着任予定)➢ WeiWei Zhang (嘱託講師)
3 研究の背景と目的	【背景】 本プロジェクトの背景としては、以下のものがある。 ① わが国では少子高齢化が進み、また、歴史的円高によつて海外への企業の移転が進んでいる。また、世界的には、各国、各企業でのグローバルタレントの囲い込み競争がおこっている。この状況で、日本の再生（日本人が食べていく）のためには、高度国際人材の養成・日本の企業での活用が望まれる。日本のビジネススクールは、優秀な留学生を集め、日本において国際的なレベルの教育をすることによって、この社会的要請に応えることができると考えられる。 ② しかし、日本のビジネススクールは、欧米はもとより韓国中国インドなどのアジアのビジネススクールからも国際化という点では大きく遅れをとっている。現状をしっかりと把握し、独自の戦略をたてていかないと、とても太刀打ちできない。 ③ 本プロジェクトは、日本のビジネススクールが、日本再生のために高度人材の養成をするにあたっての鍵となると思われる分野の予備調査を行い、学術的な発表を行うとともに、DBSのグローバルMBAコースの強化につなげていくことを目的としている。よって、この研究プロジェクトは、萌芽研究であり、また、アクション・リサーチである。

	<p>【目的】</p> <p>本プロジェクトでは、特に、以下の3つの分野における調査・研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本国内の企業の国際化の現状把握（留学生の就職・グローバル人材としての活用、企業内の英語公用語化などによる内なる国際化の進展） ● 特にアジア（中国を中心とする）の日本企業の国際化の現状把握。また、国際分業が進む中、現地企業との関連の中での国際化の把握。（留学生の活用、積極的な現地採用など） ● 日本の魅力（ソフトパワーとしての）としてよく言われるポップカルチャーやクールジャパン等が、ポテンシャルの高い留学生を惹きつける魅力となりうるのか。また、もし魅力となるのであれば、どうすれば、日本独自のビジネススクールの科目群となりうるのか。
4 研究計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 上記3分野における調査・分析枠組みの検討 ② 資料収集 ③ 分析：日本国内の現状把握 ④ 分析：アジアでの現状把握 ⑤ 分析：ポップカルチャーとMBAの整合性 ⑥ 調査報告書の作成→個別論文の作成（適していれば） ⑦ 現在の日本における国際的MBA教育に関するシンポジウム ⑧ ⑦をもとに、国際学会や論文としての発表
5 期待される成果	<p>期待される成果としては以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本国内の企業の国際化の現状把握 <ul style="list-style-type: none"> ——>学術的成果（次年度以後、独自研究プロジェクトとして発展させる可能性） ——>実際の学生のキャリア指導などへの直接的効果 ② 特にアジア（中国を中心とする）の日本企業の国際化の現状把握 <ul style="list-style-type: none"> ——>学術的成果（次年度以後、独自研究プロジェクトとして発展させる可能性） ——>実際の学生のキャリア指導などへの直接的効果 ③ ポップカルチャーと日本独自のMBAコース <ul style="list-style-type: none"> ——>学術的成果（次年度以後、独自研究プロジェクトとして発展させる可能性） ——>実際の学生募集やカリキュラム等を試行する上での直接的効果

6 研究成果の発表方法	<ul style="list-style-type: none">① 調査報告書の作成→個別論文の作成（適していれば）② 現在の日本における国際的MBA教育に関するシンポジウムの開催③ ②をもとに、国際学会や論文としての発表
-------------	---